

# 経営比較分析表

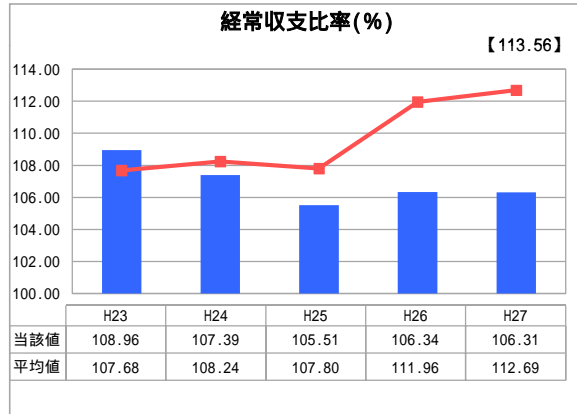
新潟県 柏崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	61.79	99.75	3,024

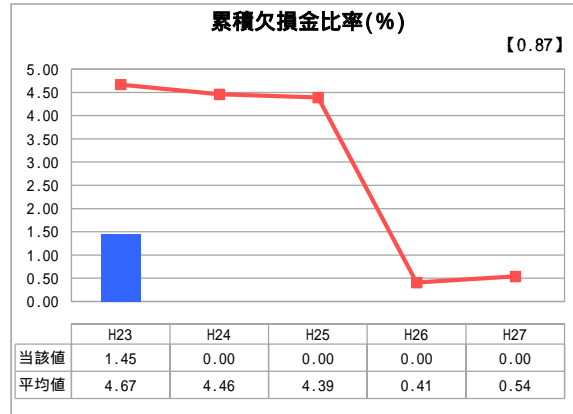
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
87,292	442.03	197.48
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
91,314	46.89	1,947.41

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
-	類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均	

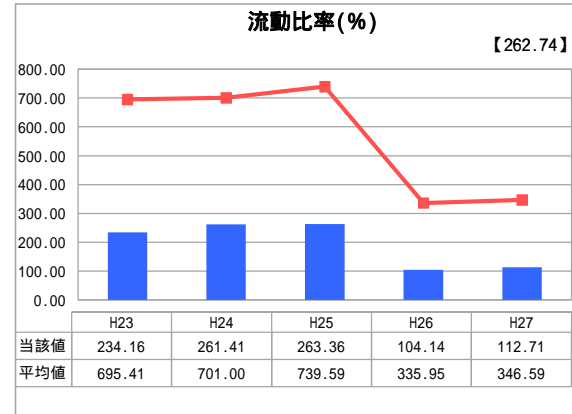
## 1. 経営の健全性・効率性



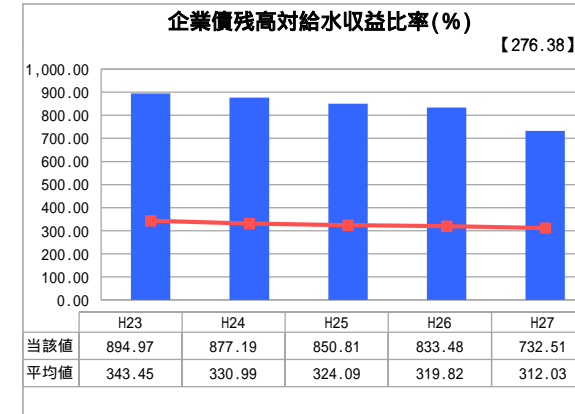
「経常損益」



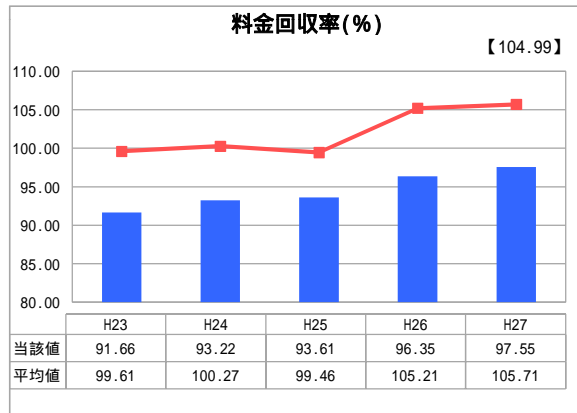
「累積欠損」



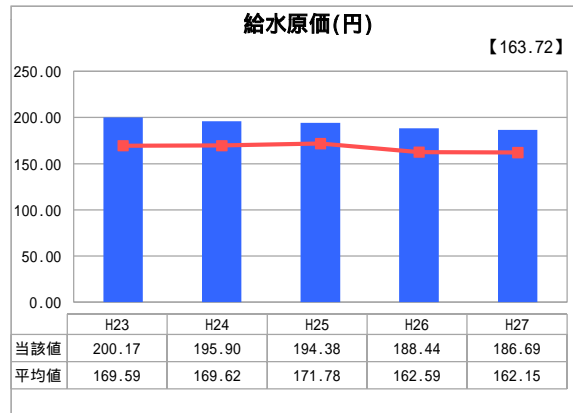
「支払能力」



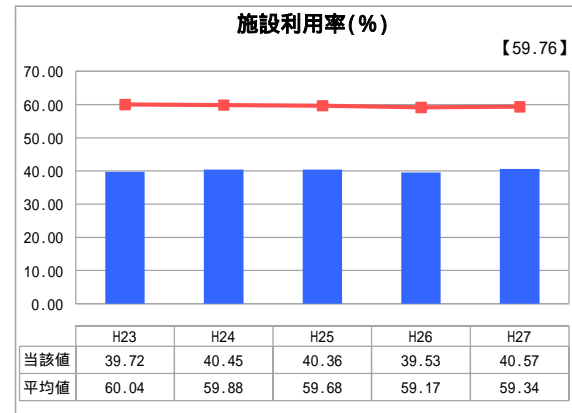
「債務残高」



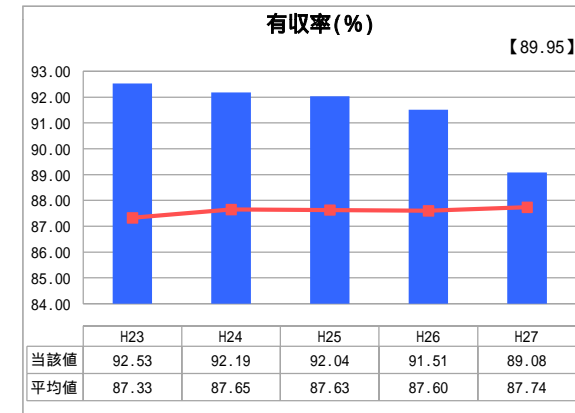
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

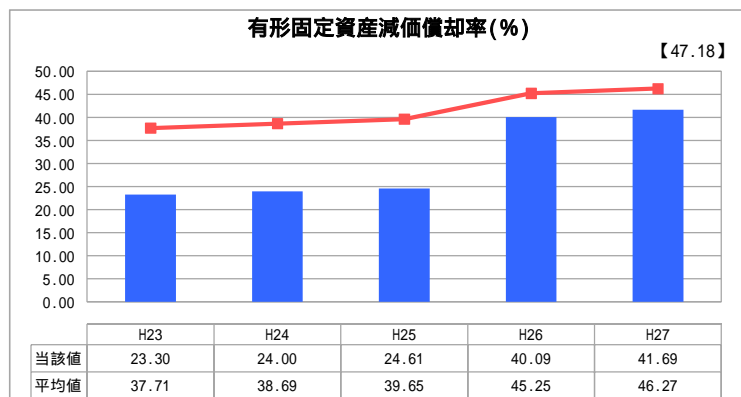


「施設の効率性」

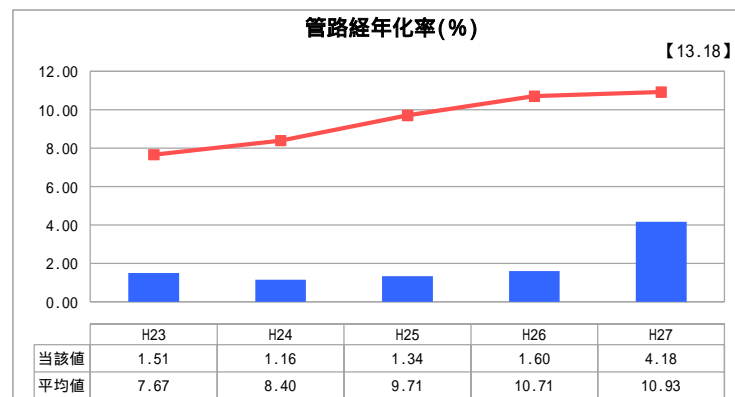


「供給した配水量の効率性」

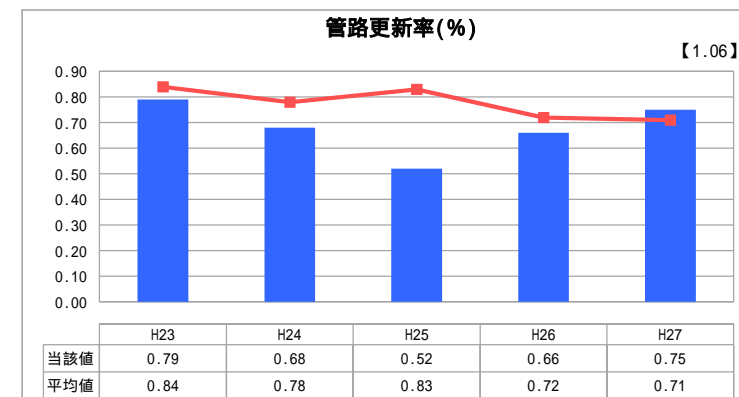
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新潟県中越沖地震に伴い、多額の累積欠損金が発生したが、平成24年度までに解消し、その後は発生していない。

企業債残高対給水収益比率に見られるように、企業債残高はまだ高い水準にあるが、起債抑制により減少してきており、企業債利息の減少や減価償却費の減少等費用の減少に伴い、給水原価も下がってきている。また、流動比率は、資金の増加に伴いあがってきており、健全性の向上も見られる。しかし、類似団体または全国平均と比べると低い水準にある。

なお、料金回収率は費用の減少に伴い向上してきているものの、100%を下回り、一般会計繰入金などの営業外収益で補っている状況である。給水収益は減少を続けており、経常収支比率の低下など経営状況の悪化が見られることから、料金設定の見直しを検討する必要がある。

また、有収率が下がってきており、漏水対策をさらに進める必要がある。施設利用率は、類似団体または全国平均を下回っており、適切な施設規模を検討する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

新潟県中越沖地震に伴い、災害復旧により管路や施設の更新が進んだため、類似団体または全国平均よりも経年率は下回っている状況である。

しかし、補助金や繰入金などの特定財源の減少と、企業債借入額の抑制を考慮し、十分な投資が行えない状況であることから、今後、老朽化が進んでいくことが予想される。

### 全体総括

給水収益の減少に伴い、類似団体または全国平均との比較においても、年度別推移においても、経営状況の悪化が見られる。

また、減価償却費や企業債償還の減少を考慮し、投資を抑制していることから、管路の老朽化が進みつつある。

今後は適切な施設規模を検討するとともに、料金の適正化を図る必要がある。

平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。